

**令和6年度**

**看護学研究科（博士前期課程）**

**問題・出題の意図・解答のポイント**

**令和6年1月20日**

**高知県立大学大学院**

## 小論文

問 看護の質の向上を図るうえでの課題をあげ、解決するための方略について、あなたの考えを述べてください。

(100点)

### <出題の意図>

看護の質の向上を図ることは看護実践において重要である。この設問により、看護の質の向上に関する専門的知識、看護に関する洞察力、論理性と抽象的思考力をみる。

### <解答のポイント>

看護の質の向上を図るうえでの課題として、医療ニーズの複雑さ、求められる役割の広範さ、成果を可視化することの難しさなどをあげていること。また、解決するための方略として、様々な視点から課題を捉えなおす、専門職としての能力や知識を向上する、新たな発想で生まれた視点やアイデアを共有する、など自分の考えを論理的に述べていること。

## 英語 高度実践看護師コース・研究コース

次の英文を読み、下記の質問に日本語で答えてください。

(100点)

出典: Kim, Hesoock Suzie: 8. Essential Tools of Nursing Practice: The Essence of Nursing Practice: Philosophy and Perspective, Springer Publishing Company, 2015, p.139より抜粋

### <出題の意図>

大学院博士前期課程において必要となる基礎的な英文読解力と、設問の内容を的確に把握し解答する力をみる。

問1 「患者を知ること」と「患者について知ること」について、筆者はどのように述べていますか。要約してください。

(50点)

### <解答のポイント>

以下の内容を含んでいること。

- ・「患者を知ること」は患者を個人として理解することを意味する
- ・「患者について知ること」は患者に関する生物医学的知識や生活歴を指しているなど

問2 「患者を知ること」と「患者について知ること」は、看護実践においてどのような成果をもたらすと考えますか。英文の内容も参考にして、あなたの考えを述べてください。

(50点)

### <解答のポイント>

提示された英文も参考にして、自らの考えを述べていること。

## 英語 実践リーダーコース

次の英文を読み、下記の質問に日本語で答えてください。

(50点)

出典: Petri, Herbert L. : Chapter 1 Introduction: Motivation: Theory, Research, and Applications 4<sup>th</sup> ed. Brooks/Cole Publishing Company, 1996, pp. 3-4 より抜粋

### <出題の意図>

大学院博士前期課程において必要となる基礎的な英文読解力と、設問の内容を的確に把握し解答する力をみる。

問1 下線部を日本語に訳してください。

(20点)

### <解答のポイント>

文章を正しく捉えて、日本語に訳していること。

問2 看護実践において Motivation という概念を理解することの意義はどのようなものでしょうか。あなたの考えを述べてください。

(30点)

### <解答のポイント>

設問に対して、自らの考えを述べていること。

## 専門科目 がん看護学

問1 痛みのあるがん患者への看護援助について、以下の1)、2)に答えてください。

(100点)

- 1) がん患者にみられる身体的な痛みの原因とその特徴について具体的に説明してください。
- 2) がん性疼痛のあるがん患者への看護援助について、根拠とともに述べてください。

### <出題の意図>

がん患者のQOLを低下させる痛みを緩和することは、がん看護において重要である。この設問により、がん患者の痛みに関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

- 問1-1) がん患者の身体的な痛みの原因として、①がんによる痛み（がんの浸潤や転移に伴う痛み：侵害受容性疼痛[体性痛・内臓痛]、神経障害性疼痛）、②がん治療による痛み（手術療法、薬物療法、放射線療法等に伴う痛み）、③がんやがん治療と無関係の痛み（既往症や骨・関節疾患による痛み、三叉神経痛等）とその特徴について具体的に説明していること。
- 問1-2) がん性疼痛のあるがん患者への看護援助として、痛みのアセスメント、薬物療法のマネジメント、症状緩和（ポジショニング、温罨法、マッサージ、イメージ療法）、教育的介入（痛みの表現方法、セルフケア）、日常生活の援助などを根拠とともに述べていること。

問2 がん患者のスピリチュアルケアについて、以下の1)、2)に答えてください。

(100点)

- 1) がん患者のスピリチュアルケアの重要性について説明してください。
- 2) がん患者のスピリチュアルケアにおいて有用と考える概念を1つとりあげて、その概念を用いてどのような支援を行うかについて、具体的に述べてください。

<出題の意図>

生きることの目的や自己存在の消滅に関連するがん患者の苦痛を緩和することは、がん看護において重要である。この設問により、がん患者のスピリチュアルケアについての専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

- 問2-1) がん患者のスピリチュアルケアの重要性（病いの体験の意味付け、苦悩からの解放、心の癒しなど）について説明していること。
- 問2-2) 有用と考える概念（傾聴、コミュニケーション、ケアリングなど）を1つとりあげて、その概念を用いて、どのような支援を行うかについて、具体的に述べていること。

## 専門科目 家族看護学

問1 次の事例を読み、以下の1)、2)に答えてください。

(120点)

A氏(80歳、男性)は、10年前から心不全で入退院を繰り返していた。妻(77歳)と二人暮らしで、長女家族(長女・保育士、夫・会社員、子ども)が近所に住んでおり、週末はいつも長女がA氏宅を訪れていた。A氏は、2週間前、心不全症状の悪化により入院となった。妻は、入院時長女に「今回もすぐ退院できるから。」と電話で伝えていたが、A氏の病状は改善せず、医師から妻へ、今回は退院が難しいかもしれないので他の家族にも知らせた方がよい、との説明が行われた。しかし、妻は「前回はそう言われながら元気になったから、今回も大丈夫。」と言い、「娘は仕事もしているし、受験生も抱えている。慌てて連絡して不要な心配をさせては申し訳ない。」と連絡しようとはしなかった。翌日さらに病状は悪化、意識混濁、血圧低下がみられたため、看護師が妻の許可を得て長女に連絡した。駆け付けた長女は、ベッドサイドで呆然としている妻とA氏の様子を見て、看護師に向かって「どうしてもっと早く知らせてくれなかったんですか!」と怒りをあらわにした。

- 1) この家族の状況について、1つの概念または理論を用いて説明してください。
- 2) 1)をふまえて、この家族に対してどのような看護援助を行うか、根拠とともに具体的に述べてください。

### <出題の意図>

病気や病状に対する家族の捉え方や反応をふまえて、家族を支援していくことは、家族看護において重要である。この設問により、病気や病状に対する家族の捉え方や反応の多面的な理解に基づく家族支援に関する専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

- 問1-1) 家族の状況について、概念または理論(家族コミュニケーション、家族ストレス対処など)を用いて説明していること。
- 問1-2) 1)をふまえて、妻と長女が互いの思いを共有できるように家族内のコミュニケーションを促す、妻と長女の対処行動を受け入れ認めつつ、適切に現実認識できるよう働きかけるなどの看護援助について、根拠とともに具体的に述べていること。

問2 学童期の子どもを育てながら、他の家族員の介護も行っている家族が直面する課題を2つとりあげ、それらに対する看護援助について、具体的に述べてください。  
(80点)

<出題の意図>

学童期の子どもの子育てと他の家族員の介護に並行して取り組んでいる家族への支援は、家族看護における重要な課題である。この設問により、複数のケアに並行して取り組む家族が直面する課題に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

家族が直面する課題（特定の家族員に負担が集中する、子どもの成長・発達や学業に十分な配慮ができなくなる、家族の休息や社会活動が制限されるなど）の中から2つをとりあげ、それらに対する看護援助を具体的に述べていること。



## 専門科目 在宅看護学

問1 在宅ケア領域で活動する専門職間の合意形成について、以下の1)、2)に答えてください。

(100点)

1) 専門職間で合意形成する困難性について、2つとりあげて、説明してください。

2) 専門職間の合意形成を促進していくために、訪問看護師の果たす役割について、3つとりあげて、具体的に述べてください。

### <出題の意図>

在宅ケアにおいて、利用者家族の多様なニーズに対応していくために、関係する専門職が協働し、合意形成することが必要である。この設問により、専門職間での合意形成に関する専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

### <解答のポイント>

問1-1) 在宅ケア領域で活動する専門職間の合意形成の困難性について、情報・目標の共有化の困難、異なる教育背景による価値観の違い、業務範囲の不明確さなどについて、2つとりあげて、説明していること。

問1-2) 専門職間の合意形成を促進していく訪問看護師の役割について、利用者家族を中心に位置づける、看護の専門性に基づいた判断を提示する、多様な価値観を尊重する、対立する意見を調整する、などから3つとりあげて、具体的に述べていること。

問2 以下の事例を読んで、訪問看護師の看護援助を3つとりあげて、具体的に述べてください。

(100点)

Aさん(80歳代、男性)は、主介護者であるBさん(80歳代、女性)との2人暮らしである。Aさんは脳梗塞を4年前に発症し、在宅生活を送ってきたが嚥下機能の低下に伴い誤嚥性肺炎を繰り返し、胃ろうの造設について医師より提案された。しかし、Aさんは、以前から食べることを楽しみとしており、「口から食べられなくなるし、身体に管を入れることは不安だ。」と訪問看護師に訴える。Bさんも、胃ろうの管理、栄養剤注入を行うことについて、不安

を訴え、Aさんの施設入所について話をするようになった。

<出題の意図>

胃ろう造設やその介護に不安のある在宅療養者とその家族への支援は訪問看護師の重要な役割である。この設問により胃ろう造設をすすめられた高齢者と家族への看護実践に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

訪問看護師の看護援助として、胃ろう造設や療養場所の意思決定支援、口から食べることへの支援、肺炎予防への支援、介護支援体制の再調整への支援などから3つとりあげて、具体的に述べていること。